

立場 MGMTPOSTGRES_MASTER へのデータベース MGMTPOSTGRES_SLAVE フェールオーバーだけ

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

MGMTPOSTGRES_MASTER がおよび MGMTPOSTGRES_ マスターに戻って MGMTPOSTGRES_SLAVE を失敗する方法をダウン状態になったらこの資料に MGMTPOSTGRES クラスタを回復方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Linux インターフェイス
- 仮想マシン環境
- Postgresql
- ペースメーカー/Corosync 設定システム (PCS)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CloudCenter バージョン 4.8.1.1
- MGMTPOSTGRES_SLAVE コンポーネント
- MGMTPOSTGRES_MASTER コンポーネント

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

MGMTPOSTGRES_ マスター コンポーネントがダウン状態になる場合、HA メカニズムは MGMTPOSTGRES_SLAVE に壊れ、MGMTPOSTGRES_ マスターがダウンしているのでそれはマスターになります。

問題

MGMTPOSTGRES_ マスターに戻って失敗するために、データベース クラスタは回復必要があり、いくつかのファイルが削除される必要があるので手動プロセスは起こらなければなりません。

エラーログ:

```
[root@mgmtpostgres_master etc]# pcs status
Cluster name: cliqrdbcluster
Stack: corosync
Current DC: dbslave (version 1.1.15-11.e174ec8) - partition with quorum

Last updated: Mon Nov 13 19:15:30 2017                Last changed: Mon Nov 13 16:59:51 2017 by
root via crm_attribute on db slave

2 nodes and 3 resources configured
Online: [ dbmaster dbslave ]

Full list of resrouces:
  Resrouce Group: VIPGroup
                  PGMasterVIP                (ocf::heartbeat:IPaddr2):                Started dbslave

Master/Slave Set: mspostgresql [pgsql]
  Masters: [ dbslave ]
  Stopped: [ dbmaster ]

Failed Actions:
* pgsql_start_0 on dbmaster 'unknown error' (1): call=11, status=complete, exitreason='My data
may be inconsistent. You have to remove /var/lib/pgsql/tmp/PGSQL.lock file to force start.',
  last-rc-change='Mon Nov 13 18:15:25 2017', queued=0ms, exec=156ms

Daemon Status:
  corosyn: active/disabled
  pacemaker: active/enabled
  pcsd: inactive/enabled
```

解決策

マスターとしてロールを再度果たすために MGMTPOSTGRES_MASTER がようにされる手動 変更必要両方のための MGMTPOSTGRES_MASTER および MGMTPOSTGRES_SLAVE 両方でクラスタを形成することができるおよび。

ステップ 1: MGMTPOSTGRES_MASTER および MGMTPOSTGRES_SLAVE では、PGSQL.lock ファイルを削除して下さい。

```
rm -rf /var/lib/pgsql/tmp/*.lock
```

呼び出します。MGMTPOSTGRES_MASTER では、リソースをクリーンアップすることを続行

して下さい。

```
pcs resource cleanup
```

ステップ 3 MGMTPOSTGRES_MASTER では、クラスタが作動中であり、No エラーがあることを確認して下さい。

```
pcs cluster status
```

```
pcs status
```

注: クラスタがアップおよびまだ実行ならマスターとして MGMTPOSTGRES_SLAVE で、VIP 持っています可能性が高いといえます。

ステップ 4 MGMTPOSTGRES_MASTER では、MGMTPOSTGRES_SLAVE のからマスター ロールを引き継ぐために MGMTPOSTGRES_MASTER で強制して下さい。

```
pcs resource move <resource group> <master database>
```

```
pcs resource move PGMasterVIP dbmaster
```

ステップ 5 MGMTPOSTGRES_MASTER では、複製があることを確認して下さい (MGMTPOSTGRES_SLAVE IP の IP 探される)。

```
ps -ef | grep postgr
```

ステップ 6 MGMTPOSTGRES_MASTER では、No エラーがあること、そして MGMTPOSTGRES_MASTER が使用するマスターデータベースであることを確認して下さい。

```
pcs status
```